

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：

使用教科書：（標準 論理国語（第一学習社））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
検証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
1 学期	単元 新しい視点 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 池内了「新しい博物学を」 各段落の役割や関係を把握し、筆者の提案する「新しい博物学」の意義と可能性を考察する。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧 パスポート国語必携	○			【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	6
	単元 新しい視点 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 宮野一徳「哲学的思考とは何か」 具体例や言い換えに留意しながら内容を正確に把握し、「哲学的思考」の方法を理解する。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧 パスポート国語必携		○		【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	単元 人間と社会 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 岡本真一郎「SNSと意見の分極化」 フェイクニュースの社会的問題を分析的に説明する論展開を把握し、自分に照らして考えを深める。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧 パスポート国語必携			○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	16
定期考査						○	○		1	
2 学期	単元 生活と自然 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 千松信也「クマを変えてしまう人間」 猟師である筆者の体験をもとに語られる、人間の活動と自然との関係について理解を深める。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧 パスポート国語必携	○		○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	20
	定期考査					○	○		1	
	単元 生への思索 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 森本哲郎「経験の教えについて」 論理的な文章の構成の理を知り、「経験の教え」について自分に引き付けて考えを深める。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧 パスポート国語必携	○	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	10
	単元 生への思索 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 森達也「僕らの時代のメディア・リテラシー」 筆者の主張の要点を理解し、市場原理の主体とメディアとの関係について考えを深める。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧 パスポート国語必携	○		○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	12
定期考査						○	○		1	
3 学期	単元 現代と社会 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 鷲田清一「支え合うことの意味」 抽象的な表現の意味を把握しながら、「支え合うことの意味」について考えを深める。 ・教材 標準論理国語、新国語便覧 パスポート国語必携	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	26
	定期考査					○	○	○	1	
									合計	105

年間授業計画

高等学校 令和8年度(3学年用)教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究 単位数：3 単位  
 対象学年組：第3学年 1組～6組  
 教科担当者：(1組：山田) (2組：岡本) (3組：山田) (4組：岡本) (5組：山田) (6組：岡本)  
 使用教科書：(『詳説日本史 日本史探究』山川出版社)

教科 地理歴史 の目標：  
 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情  
 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察し  
 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を  
 科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第11章 近代から近世へ 【知識及び技能】 幕府の滅亡、旧幕勢力の変化についての経過を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面の変化と関連して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	開国と幕末の動乱 幕府滅亡と新政府の発足 ・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 欧米諸国の進出とアジアの変化について資料を適切に読み取り、日本社会の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の開国による社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第12章 近代国家の成立 【知識及び技能】 明治維新や立憲国家の成立について多面的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米文化・思想の導入と近代化政策に対する影響について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在の憲法との違いを踏まえて問いを立てることができる。	明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 ・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と文明開化の風潮について諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考・判断・表現】 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や欧米諸国の文化の影響などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新によって生じた諸課題について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学期	第13章 近代国家の発展の展開 【知識及び技能】 不平等条約の改正や日清・日露戦争、ワシントン体制への発展した過程について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦前後の政治の動向や国際状況の変化について日本の立場から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 朝鮮の問題や政治内閣の成立など現代と結び付けて主体的に追究する。	日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 ・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 日清・日露前後における条約改正などについて諸資料から情報を読み取り日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 大戦中の日本の動向を踏まえ、アジア地域への影響や民族意識の高まりについて多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 当時の日本外交が与えら影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第14章 近代の産業と生活 【知識及び技能】 資本主義国家の確立された家庭について近代産業の発展を踏まえ理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代産業の発展による社会問題の発生と近代文化の特色について多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 大衆文化や労働問題など現代の諸課題につなげて探究する。	近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化 ・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 産業の発達背景と影響から当時の社会問題や文化の様子について諸資料から情報を読み取り理解している。 【思考・判断・表現】 地域社会の変化を踏まえて労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業発展による社会問題への対応について自ら主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
3 学期	第15章 恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 戦後恐慌による国内経済の動揺と軍部の政治台頭と、第二次世界大戦の各国の動きについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会主義運動の高揚と国家主義、全体主義的な国家体制の進展を経済、社会などの面から多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦の学習から平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 ・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 国際社会やアジアとの関係を踏まえ戦争の長期化について諸資料を適切に読み取り、第二次世界大戦の展開について理解している。 【思考・判断・表現】 日本における思想の変化や全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	合計						105



年間授業計画

高等学校 令和8年度

教科 数学

科目 数学Ⅲ

教科：数学 科目：数学Ⅲ 単位数：4 単位  
 対象学年組：第3学年 1組～6組  
 教科担当者：好住  
 使用教科書：(数研出版 新編 数学Ⅲ)  
 教科 数学 の目標：  
 【知識及び技能】 基本的な計算問題を正確に解く処理能力を身につける。  
 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の道筋を考えたり説明ができるようにする。  
 【学びに向かう力、人間性等】 演習やワークシートに積極的に取り組み、数学の面白さを知ろうとする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
種類、微分法及び積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的にとらえたり、数学的に処理する力を身に付ける。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり関数関係をより深くとらえて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質に着目し、問題解決の過程や結果を振り返って総合的・発展的に考察したりする力を身につける。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、数学的論議に基いて判断しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <p>①分数関数、無理関数の定義を理解し、グラフをかく。                  ②逆関数の定義や求める手順を理解し、様々な関数の逆関数を求める。                  ③数列の極限値の定義を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①関数のグラフと直線の共有点の座標を、連立方程式の実数解に読み替え、グラフを利用することで、分数不等式・無理不等式を解く。                  ②逆関数の定義から、逆関数の定義域・値域や性質を考察する。                  ③収束する数列の極限値の性質を理解し、数列の極限を求める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①難易度の高い問題に積極的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分数関数</li> <li>無理関数</li> <li>逆関数と合成関数</li> <li>数列の極限</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>関数の定義を理解し、グラフをかきことができる。種々の関数の逆関数を求めることができる。                  数列の極限値の定義を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>関数のグラフと直線の共有点の座標を、連立方程式の実数解に読み替えることができる。グラフを利用することで、分数不等式・無理不等式を解くことができる。逆関数の定義域・値域や性質を考察することができる。簡単な数列の収束、発散を調べ、極限を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>グラフと直線について、共有点の座標の意味を考え、その求め方を考察しようとする。                  不等式の解の意味を考え、グラフを用いて考察しようとする。                  数列の不定形を解消するように工夫して変形しようとする。</p>	○	○	○	24
1学期 中間考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①無限等比数列の収束・発散を利用して、様々な数列の極限を求める。                  ②無限級数の和とは、部分和の作る数列の極限であることを理解し、収束、発散を調べる。                  ③簡単な関数の極限を求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①無限等比数列を、公比の値で場合分けし、極限を考察する。                  ②不定形を解消するように工夫して式を変形し、関数の極限を求める。                  ③直感的に中間地の定理を理解し、それを用いて方程式の実数解の存在を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①難易度の高い問題に積極的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無限等比数列</li> <li>無限級数</li> <li>関数の極限</li> <li>関数の連続性</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>無限等比数列の収束・発散を利用して、様々な数列の極限を求めることができる。無限級数の和とは、部分和の作る数列の極限であることを理解し、無限級数の収束、発散を調べることができる。簡単な関数の極限を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>無限等比数列を、公比の値で場合分けし、極限を考察することができる。                  不定形を解消するように工夫して式を変形し、関数の極限を求めることができる。                  中間地の定理を用いて方程式の実数解の存在を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>「無限に近づく」ということを、数学的に定義する方法を理解しようとする。                  関数の不定形を解消するように工夫して変形しようとする。</p>	○	○	○	32
1学期 期末考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①微分可能性と連続性の関係を理解し、導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分する。                  ②高次導関数の定義、表記を理解し、種々の関数の高次導関数を求める。                  ③媒介変数tで表された関数の導関数を、tの関数として表す。                  ④微分係数の意味を理解し、接線の方程式を求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①三角関数、指数関数、対数関数の導関数を理解し、種々の関数の導関数を計算する。                  ②導関数を、微分係数から得られる新しい関数として理解する。                  ③接線の垂直条件から、法線の方程式を求める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①難易度の高い問題に積極的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>微分係数と導関数</li> <li>導関数の計算</li> <li>いろいろな関数の導関数</li> <li>第n次導関数</li> <li>曲線の方程式と導関数</li> <li>接線の方程式</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>微分可能性と連続性の関係を理解し、導関数を定義に基づいて求めることができる。高次導関数の定義、表記を理解し、種々の関数の高次導関数を求めることができる。                  媒介変数tで表された関数の導関数を、tの関数として表すことができる。接線の方程式を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>三角関数、指数関数、対数関数の導関数を理解し、種々の関数の導関数を計算できる。導関数、微分係数から得られる新しい関数として理解することができる。                  直線の垂直条件から、法線の方程式を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>微分係数の図形的意味を考察しようとする。様々な導関数の性質や計算方法に興味をもち、具体的な問題に取り組もうとする。</p>	○	○	○	30
2学期 中間考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①関数の極大値・極小値や最大値・最小値を増減表を書いて考察し、極値・最大値・最小値を求める。                  ②曲線の凹凸の定義を理解し、第2次導関数の符号で曲線の凹凸を判定する。                  ③運動する点の速度、速さ、加速度の定義を理解し、それらを求める。                  ④種々の関数の近似式を作り、近似値を求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①関数の値の変化                  ②関数のグラフ                  ③方程式、不等式への応用                  ④速度と加速度                  ⑤近似式</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①難易度の高い問題に積極的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数の値の変化</li> <li>関数のグラフ</li> <li>方程式、不等式への応用</li> <li>速度と加速度</li> <li>近似式</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>増減表を書いて考察し、関数の極値・最大値・最小値を求めることができる。第2次導関数の符号で曲線の凹凸を判定することができる。                  運動する点の速度、速さ、加速度の定義を理解し、それらを求めることができる。種々の関数の近似式を作り、近似値を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>方程式f(x)=aの実数解の個数を、関数のグラフと直線の共有点の個数に読み替えて考察することができる。                  導関数を利用して、不等式を証明することができる。不等式の形から、平均値の定理を利用するための関数及び区間を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>関数のグラフの様々な形に興味をもち、様々な方法でそれを調べようとする。                  方程式や不等式を関数の視点でとらえ、解決しようとする。</p>	○	○	○	32
2学期 期末考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①不定積分、定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分、定積分を計算する。                  ②無限部分関数の形の特徴から、置換積分法や部分積分法を利用して、不定積分を求め、</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①グラフの上下関係、積分範囲などを図を書いて考察し、定積分を用いて面積を求める。                  ②回転体の体積を求める方法を理解し、回転体の体積を求める。                  ③絶対値を含む関数の定積分が面積を表していると考え、定積分の計算を考察する。                  ④上端、下端がある定積分をxの関数とみる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①難易度の高い問題に積極的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定積分とその基本性質</li> <li>置換積分法と部分積分法</li> <li>いろいろな関数の不定積分</li> <li>定積分とその基本性質</li> <li>置換積分法と部分積分法</li> <li>定積分のいろいろな問題</li> <li>面積</li> <li>体積</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>不定積分、定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分、定積分を計算することができる。                  無限部分関数の形の特徴から、置換積分法や部分積分法を利用して、不定積分を求めることができる。                  グラフの上下関係、積分範囲などを図を書いて考察し、定積分を用いて面積を求めることができる。回転体の体積を求める方法を理解し、回転体の体積を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>グラフの上下関係、積分範囲などを図を書いて考察し、定積分を用いて面積を求めることができる。回転体の体積を求める方法を理解し、回転体の体積を求めることができる。                  絶対値を含む関数の定積分が面積を表していると考え、定積分の計算を考察することができる。                  上端、下端がある定積分をxの関数とみることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>置換積分法、部分積分法により、複雑な関数の定積分を求めることに興味・関心を示す。                  体積を計算するには断面面積を表す関数を積分すればよいことに興味・関心をもち、考察しようとする。</p>	○	○	○	17
3学期 学年末考査			○	○	○	1
			○	○	○	合計 140



年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

理科 科目 化学

教科：理科

科目：化学

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 選択

教科担当者：古館

使用教科書：（東京書籍 化学

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 定期考査において各単元の知識、理解度から判断する。

【思考力、判断力、表現力等】 定期考査において各単元の思考力から判断する。

【学びに向かう力、人間性等】 実験、実習において積極性、正確性、協調性から判断する。

科目 化学

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
定期考査において各単元の知識、理解度から判断する。	定期考査において各単元の思考力から判断する。	実験、実習において積極性、正確性、協調性から判断する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	酸・塩基 【知識及び技能】 酸・塩基を定義できる 【思考力、判断力、表現力等】 酸・塩基の働きを理解できる 【学びに向かう力、人間性等】 実験から酸・塩基の働きを正しく導くことができる。	・酸・塩基 ・酸素の授受と酸塩基 ・水素の授受と酸塩基	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	酸・塩基の強弱 【知識及び技能】 酸・塩基の強弱を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 電離度から酸・塩基の強弱を計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において酸・塩基の濃度を求められる。	・酸・塩基の強弱 ・pHの意味 ・中和滴定	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学期	酸化・還元 【知識及び技能】 酸化・還元を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化・還元を電子の授受と関連できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において酸化還元反応を正しく導ける	・酸化と還元 ・電子の授受 ・酸化還元滴定	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	金属の酸化還元反応 【知識及び技能】 金属のイオン化傾向を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 金属の反応性を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において電池を作ることができる。	・イオン化傾向 ・酸との反応性 ・電池	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学期	高分子化合物 【知識及び技能】 高分子化合物を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物の特徴を見分けられる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において高分子化合物を合成できる。	・高分子化合物の分類 ・天然高分子化合物 ・スクロースとマルトースの還元性	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考査						1
							合計
							70





年間授業計画

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅢ 単位数: 4 単位  
 対象学年組: 第3学年 1組～ 6組  
 教科担当者: (12組 糸久、小林、東條) (34組 小林、糸久、柳田) (56組 東條、柳田、糸久)  
 使用教科書: (All Board!! English Communication Ⅲ (東京書籍)、チャックで英単語 Standard(三省堂))

教科 外国語 の目標:

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできるようになる。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
支援をほとんど必要としなくても、英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりするための知識・技能を身に付ける。	支援をほとんど必要としなくても、英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりするための思考・判断・表現力を身に付ける。	積極的に英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりしようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価基準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 (発 音)	書						
1 学 期	Lesson1 Gift to Barcelona 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方を意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考を深める。	◆指導事項 文法事項: to不定詞/動名詞 内容: ガウディとその作品 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○					14
	Lesson2 Akami 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方を意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考を深める。	◆指導事項 文法事項: 現在完了 内容: エンモンガとアイヌの人々 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○					16
	Lesson3 Your True Colors 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方を意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考を深める。	◆指導事項 文法事項: 使役動詞 内容: 自己表現とファッション ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○					16
	Lesson4 Our Future Food? 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方を意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考を深める。	◆指導事項 文法事項: 受け身 内容: 昆虫食 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○					16
	定期考査										1
2 学 期	Lesson5 Madagascar 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方を意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考を深める。	◆指導事項 文法事項: 関係代名詞 内容: マダガスカルと自然 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○					14
	Lesson6 The Mystery of the Terracotta Warriors 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方を意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考を深める。	◆指導事項 文法事項: 関係代名詞の非制限用法 内容: 古代中国と兵马俑 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○					14
	Lesson7 Green Challenges 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方を意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考を深める。	◆指導事項 文法事項: 比較表現 内容: 地球温暖化と再生可能エネルギー ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○					15
	Lesson8 Witnesses of War 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方を意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考を深める。	◆指導事項 文法事項: 分詞の形容詞的用法 内容: 原爆と路面電車 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○					16
	定期考査										1
3 学 期	Lesson9 The Wonders of Lightning 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方を意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考を深める。	◆指導事項 文法事項: 仮定法過去 内容: 雷の不思議 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○					14
	定期考査									1	
										合計	
										140	



年間授業計画

大山 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

国語 科目 国語演習B A

教科： 国語 科目： 国語演習B A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（火12α組：佐藤）（水56β組：堀川）（金12γ組：堀川）

使用教科書：（「国語常識の総復習 四訂版」 啓隆社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】言語活動を通し、漢字や語句、文意の明確化や文章の構成といった事項に関わる知識や技能を高める。

【思考力、判断力、表現力等】言語活動の特質を理解し、自ら思考し意見を相手に伝える表現力を付け、自己の能力として定着させる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に言語文化や言語感覚についての学習に取り組み、能力を高め、可能性を広げる。

科目 国語演習B A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「読む力」「書く力」を問題演習を通して身に付けていく。	語彙の知識を増やし、言葉を正確に理解することによって、判断力、表現力を高めていく。	言語活動に積極的に取り組むことによって、言語活動の向上を図る態度や自主的に学び続ける姿勢を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
学	A 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・文章読解	○	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	12
	B 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 3 現代思想講義 4 社会の中で生きている	○	○	○	○	○	○	○	12	
2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 3 鉄道員 4 庭の南瓜	○	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	14
	F 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 5 哲学の使い方 6 これからのロボット倫理学	○	○	○	○	○	○	○	14	
3 学 期	G 単元 標準編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習（長文問題） ・文章読解 7 政と源 8 三十一文字のパレット	○	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	18
	合計										70

年間授業計画

大山 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 国語演習A D

教科：国語 科目：国語演習A D

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：羽鳥

使用教科書：（『正しく読み・解くための力をつける現代文』数研出版編集部）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語演習A D の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
検証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書 読					
学	A 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・文章読解 1 言葉についての感受性 2 学問の冒険 3 論理的な人と理屈っぽい人 6 みんなが欲しいものが欲しい	○	○ ○ ○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	12
	B 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 7 通訳と翻訳の違い 8 夕顔 9 ふっくらと 10 あかりの湖畔	○	○ ○ ○		○	○	○	12
2 学期	E 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 11 科学の考え方・学び方 12 春の憂鬱 13 エイジ 14 「旅と人生」について	○	○ ○ ○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	14
	F 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 15 古典をどう読むか 16 正解のない言葉の冒険 17 新聞はなぜ必要か	○	○ ○ ○		○	○	○	14
3 学期	G 単元 標準編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習（長文問題） ・文章読解 大学入試共通テスト過去問 大学2次試験過去問 ・教材 過去問より抜粋	○	○ ○ ○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	18
	合計								

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

国語 科目 小論文演習

教科：国語 科目：小論文演習

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：（水56β組：佐藤邑）

使用教科書：（『国語表現』（大修館）『小論文頻出テーマ2026チェック＆ワーク』（第一学習社）） 『国語表現ナビ』（浜島書店）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】言語活動を通し、漢字や語句、文意の明確化や文章の構成といった事項に関わる知識や技能を高める。

【思考力、判断力、表現力等】言語活動の特質を理解し、自ら思考し意見を相手に伝える表現力を付け、自己の能力として定着させる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に言語文化や言語感覚についての学習に取り組み、能力を高め、可能性を広げる。

科目 小論文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
小論文を書く上で必要となる語彙を豊かにし、適切な表現方法を身に付ける。	小論文及び面接、集団討議における重要事項を理解し、自ら考え適切に表現する能力を高める。	言語活動に積極的に取り組むことによって、言語活動の向上を図る態度や自主的に学び続ける姿勢を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	聞	書	読					
<b>A 単元</b> 【知識及び技能】 文字や語句について調べ、文や文章の明確な表現の方法について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 言語活動の特質を理解し、自己の能力として定着させる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に言語文化や言語感覚についての学習に取り組み、能力を高め、可能性を広げる。	・指導事項 言葉と表現 小論文とは何か ・教材 『国語表現』『国語表現ナビ』	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。	○	○	○	12	
	・指導事項 整った文を書く 反論を想定して書く 面接練習 ・教材 『国語表現』『国語表現ナビ』	○	○	○	1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	12	
<b>B 単元</b> 【知識及び技能】 文字や語句について調べ、文や文章の明確な表現の方法について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 言語活動の特質を理解し、自己の能力として定着させる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に言語文化や言語感覚についての学習に取り組み、能力を高め、可能性を広げる。	・指導事項 相手に応じた言葉遣い 文章を読み取って書く 自己PR ・教材 『国語表現』『国語表現ナビ』	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。	○	○	○	14	
	・指導事項 わかりやすい文を書く 統計資料を読み取って書く 志望理由書 ディスカッション、プレゼン ・教材 『国語表現』『国語表現ナビ』	○	○	○	1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	14	
<b>C 単元</b> 【知識及び技能】 文字や語句について調べ、文や文章の明確な表現の方法について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 言語活動の特質を理解し、自己の能力として定着させる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に言語文化や言語感覚についての学習に取り組み、能力を高め、可能性を広げる。	・指導事項 文のつなぎ方 発想を広げて書く ・教材 『国語表現』『国語表現ナビ』	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。	○	○	○	18	
	・指導事項 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	18	
合計										
70										

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習

教科：国語 科目：古典演習 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1～6組：村田）

使用教科書：（『高等学校 標準古典探究』（第一学習社））

教科の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、伝える力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者と社会と関わろうとする態度を養う。

科目 古典演習の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者と社会と関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
			話	聞	書 読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。 自動詞と他動詞を分類する。品詞の種類を識別する。	○		○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 助動詞の意味と活用を理解し、判別できているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深く読み取り、論考ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	9
	B 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	漢文の助字・置き字・再読文字のある文を書き下し文に直す。		○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	形容詞・形容動詞・助動詞「る・らる・す・さす・しむ」「き・けり・つ・ぬ・たり・り」「む・らむ・けむ」	○	○	○		○	○	○	10
	定期考査					○	○		1	
2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	助動詞「まほし・たし」・格助詞・接統助詞・係助詞・副助詞・終助詞	○		○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 助動詞の意味と活用を理解し、判別できているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深く読み取り、論考ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	12
	F 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	大学入学共通テスト対策問題（古文・漢文）	○	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	大学入学共通テスト対策問題（古文・漢文）	○	○	○	【知識・技能】 語彙が増えているか。助動詞の意味と活用を理解し、判別できているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深く読み取り、論考ができているか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	10
	定期考査									
合計										
70										









年間授業計画

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 公民 科目 社会総合

教科: 公民 科目: 社会総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 6 組

教科担当者: ( α : 岡本 ) ( β : 岡本 )

使用教科書: ( なし )

教科 公民 の目標:

【知識及び技能】現代の社会的事象と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見出し、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察させ、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現させる。

【学びに向かう力、人間性等】現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を深め、意欲的に課題を追及するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけさせ、人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。

科目 社会総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解させる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論させる。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決する態度を育ませる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生命倫理について理解させ、現代の課題について考えさせる。	生老病死を考える ・代理母制度 ・安楽死問題 ・子どもの臓器移植 ・人工呼吸器と家族の意識障害	【知識・技能】 ・生命倫理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・生命倫理について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	資料を読んで倫理的に課題について考え、自分の意見を述べる。	生老病死を考える ・家族の意識障害 ・人魚の眠る家 ・人工呼吸器をつけて生きるか ・脳死になった我が子の臓器提供	【知識・技能】 ・生命倫理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・生命倫理について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	18
2 学 期	資料を読んで倫理的に課題について考え、自分の意見を述べる。	生命倫理の課題 ・現代の生殖・死と倫理 ・臓器移植と倫理	【知識・技能】 ・生命倫理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・生命倫理について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	正義について理解させ、現代の課題について考えさせる。	正義とは ・殺人に正義はあるのか ・命に値段をつけること ・喜びを測定して出した結論は公平か ・課税に正義はあるか	【知識・技能】 ・正義について理解している。 【思考・判断・表現】 ・正義について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	18
3 学 期	正義について理解させ、現代の課題について考えさせる。	正義とは ・個人の権利をどこまで認めることができるか ・暗黙の同意によって生まれた義務と命と公平	【知識・技能】 ・正義について理解している。 【思考・判断・表現】 ・正義について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	4
							70

年間授業計画

東京都立大山高等学校 令和8年度 教科：数学 科目：数学演習Ⅱ 年間授業計画

教科：数学 科目：数学演習Ⅱ 単位数：2 単位  
 対象学年組：第3学年 1組～6組  
 教科担当者：加藤三奈子  
 使用教科書：(リンク 数学演習Ⅰ・A 受録編a+b)

教科 数学 の目標：  
 【知識及び技能】基本的な計算問題を正確に解く処理能力を身につける。  
 【思考力、判断力、表現力等】問題解決の道筋を考えたり説明ができるようにする。  
 【学びに向かう力、人間性等】演習やワークシートに積極的に取り組み、数学の面白さを知らうとする。

科目	数学演習Ⅱ	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	【学びに向かう力、人間性等】	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	感	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <p>①基本的な数式の問題を解くことができる。</p> <p>②基本的な因数分解の問題を解くことができる。</p> <p>③与えられた2次関数を正しく平方完成できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①文字の置き換えを利用した展開の問題を解くことができる。</p> <p>②複数の文字が混じり合った式を正しい手順で因数分解することができる。</p> <p>③与えられた2次関数の頂点座標や軸の式を求めたり、最大値・最小値を求めたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①クラスメイトに質問したり、週末からヒントを得て、難易度の高い問題に積極的に取り組もうとする。</p>	<p>式の変換の基本</p> <p>式の変換の応用</p> <p>因数分解の基本</p> <p>因数分解の応用</p> <p>2次関数の基本</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>提出物(ワークシート)</p> <p>行動観察</p>	○	○	○	11
1学期 中間考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①与えられた2次関数のグラフを描き、最大値・最小値を求めることができる。</p> <p>②2次不等式の基本問題を解くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①与えられた2次関数のグラフを描き、正確に最大値・最小値を求めることができる。</p> <p>②2次不等式の応用問題を解くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①クラスメイトに質問したり、週末からヒントを得て、難易度の高い問題に積極的に取り組もうとする。</p>	<p>2次関数の最大・最小</p> <p>2次関数の応用</p> <p>2次不等式の基本</p> <p>2次不等式の応用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>提出物(ワークシート)</p> <p>行動観察</p>	○	○	○	11
1学期 期末考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①重心・外心・内心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。</p> <p>②チェバ・メネラウスの定理を用いて、線分比を求めることができる。</p> <p>③円に内接する四角形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①図形の性質を証明するのに、間接的な証明法である同一法を適用することができる。</p> <p>②三角形の外接円と四角形の内接円の問題を認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①クラスメイトに質問したり、週末からヒントを得て、難易度の高い問題に積極的に取り組もうとする。</p>	<p>図形の性質</p> <p>三角形の性質</p> <p>重心・外心・内心</p> <p>チェバ・メネラウスの定理</p> <p>円の性質</p> <p>四角形と中心角</p> <p>内接する四角形</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>提出物(ワークシート)</p> <p>行動観察</p>	○	○	○	14
2学期 中間考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①円の接線の性質を用いて、辺や線分の長さを求めることができる。</p> <p>②方べきの定理を用いて、線分の長さを求めることができる。</p> <p>③円の位置関係に基づいた場合があることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①円と直線の位置関係に基づいた場合があることを理解している。</p> <p>②接線と弦の作る角についての定理の証明方法を理解する。</p> <p>③円の位置関係を、動的な面から観察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①クラスメイトに質問したり、週末からヒントを得て、難易度の高い問題に積極的に取り組もうとする。</p>	<p>図形の性質</p> <p>円の性質</p> <p>円と接線</p> <p>接弦定理</p> <p>方べきの定理</p> <p>2つの円</p> <p>数学と人間の活動</p> <p>約数・倍数</p> <p>素数と素因数分解</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>提出物(ワークシート)</p> <p>行動観察</p>	○	○	○	12
2学期 期末考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①総合問題の基礎問題を解くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①総合問題の応用問題を解くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①クラスメイトに質問したり、週末からヒントを得て、難易度の高い問題に積極的に取り組もうとする。</p>	<p>数学ⅠA総合問題</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>提出物(ワークシート)</p> <p>行動観察</p>	○	○	○	17
3学期 学年末考査						1
						合計
						70





年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

芸術 科目 陶芸

教科：芸術

科目：陶芸

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組：） （2 組：） （3 組：） （4 組：） （5 組：） （6 組：）

使用教科書：（ ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 陶芸

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
陶芸の技法や物の形の捉え方、基本的な道具の使い方を理解し、適切に表現することができる。	制作時の立体表現において実際に使うことを前提とした機能性を考え、表現することができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	写 映	映						
A 陶芸① 【知識及び技能】 造形前の荒練りや菊練りの技法を理解し、技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 陶芸粘土の特性を理解し、機能性を加味したデザインを考えることができる。 鑑賞 【知識及び技能】 地方によって異なる陶芸粘土について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 機能性を考えたうえでの独創的なデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主題を選び、工夫して制作できる。	・陶芸粘土の特性の説明 ・荒練り、菊練り指導  ・指導事項 陶芸作品を鑑賞する ・教材 参考作品	○		○	・観察したものを平面上に表現するために必要な技術がみについている。【知識及び技能】 ・モチーフを表現するのに適切な構図、鉛筆の濃淡やタッチで描くことができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・描くことに主体的に取り組み、美術的な感性を高めることができる。【学びに向かう力、人間性等】 ・鉛筆の使い方、画面構成など、制作に必要な要素を習得できている。【知識及び技能】 ・主題が適切且つ効果的に伝わる構図になっている。【思考力、判断力、表現力】 ・主題を選び、それを表現するために、意欲的に制作に励んでいる。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	○	16
2 学 期	E 陶芸③ 【知識及び技能】 電動ろくろによる制作の技法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 陶芸粘土の特性を理解し、機能性を加味したデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 質の高い作品を作ろうとする姿勢。  F 鑑賞 【知識及び技能】 陶芸粘土による表現方法について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 機能性を考えたうえでの独創的なデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主題を選び、工夫して制作できる。	・電動ろくろによる指導  ・指導事項 人の作品を鑑賞する ・教材 参考作品	○		○	・観察したものを平面上に表現するために必要な技術がみについている。【知識及び技能】 ・モチーフを表現するのに適切な構図、鉛筆の濃淡やタッチで描くことができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・描くことに主体的に取り組み、美術的な感性を高めることができる。【学びに向かう力、人間性等】 ・鉛筆の使い方、画面構成など、制作に必要な要素を習得できている。【知識及び技能】 ・主題が適切且つ効果的に伝わる構図になっている。【思考力、判断力、表現力】 ・主題を選び、それを表現するために、意欲的に制作に励んでいる。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	31
合計	70									







年間授業計画

高等学校 令和8年度

教科

芸術

科目

実用書道

教科：芸術

科目：実用書道

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：（1組：金澤容子）（2組：金澤容子）（3組：金澤容子）（4組：金澤容子）（5組：金澤容子）（6組：金澤容子）

使用教科書：（硬筆レッスン帳）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】文字を正確に、読みやすく整えて書くことを目標とする

【思考力、判断力、表現力等】文字の結構の特徴を理解し、美しく書くことを目標とする

【学びに向かう力、人間性等】課題に真摯に取り組み、上達を志す姿勢を養うことを目標とする

科目 実用書道

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文字を正確に、読みやすく整えて書くことを目標とする	文字の結構の特徴を理解し、美しく書くことを目標とする	課題に真摯に取り組み、上達を志す姿勢を養うことを目標とする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	A 単元 ひらがな 【知識及び技能】 ひらがなの字源を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ひらがなの字形を整えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 課題に真摯に取り組む	・教材 テキスト・書道用具			○	○	授業への取り組み 課題の提出	○	○	○	8
	A 単元 楷書 【知識及び技能】 楷書の結構を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の字形を整えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 課題に真摯に取り組む	・教材 テキスト・書道用具		○		○	授業への取り組み 課題の提出	○	○	○	8
	A 単元 楷書② 【知識及び技能】 楷書の結構を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の字形を整えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 課題に真摯に取り組む	・教材 テキスト・書道用具			○	○	授業への取り組み 課題の提出	○	○	○	8
	A 単元 履歴書 【知識及び技能】 履歴書の様式について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自分の履歴書を美しく書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 課題に真摯に取り組む	・教材 テキスト・書道用具		○		○	授業への取り組み 課題の提出	○	○	○	6
2 学 期	A 単元 行書 【知識及び技能】 行書の結構を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 行書の字形を整えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 課題に真摯に取り組む	・教材 テキスト・書道用具			○	○	授業への取り組み 課題の提出	○	○	○	22
	A 単元 葉書の書き方 【知識及び技能】 葉書の書き方を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 葉書の表書き、裏書きを体裁よく書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 課題に真摯に取り組む	・教材 テキスト・書道用具		○		○	授業への取り組み 課題の提出	○	○	○	8
3 学 期	A 単元 封書の書き方 【知識及び技能】 封書の書き方を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 封書の表書き、裏書きを体裁よく書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 課題に真摯に取り組む	・教材 テキスト・書道用具		○		○	授業への取り組み 課題の提出	○	○	○	6
	A 単元 金封の書き方 【知識及び技能】 金封の種類、使用用途と書き方を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 金封を体裁よく書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 課題に真摯に取り組む	・教材 テキスト・書道用具		○		○	授業への取り組み 課題の提出	○	○	○	4
											合計
											70





年間授業計画

高等学校 令和8年度 教科 家庭 科目 保育基礎

教科：家庭 科目：保育基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択登録者

教科担当者：( )

使用教科書：( なし )

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】生活の自立のための衣食住や消費生活、家族や家庭生活などの基礎的な知識・技術を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】生活の中の課題の解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

科目 保育基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身につけるようにする。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数	
1 学 期	<p>&lt;保育の意義・保育の環境&gt;</p> <p>【知識及び技能】 保育の重要性、保護者や保育者の役割を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 保育の重要性や環境が与える影響について考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 保育の意義や環境について関心を持ち、考えようという姿勢がみられる。</p>	<p>オリエンテーション 保育とは何か 子どもが育つ環境 家庭での養育 さまざまな保育の場 集団保育の重要性</p> <p>教材：ワークノート、プリント</p>	<p>【知識・技能】 子どもの人格形成における保育の重要性、家庭での養育と集団保育の役割を理解している。</p> <p>(提出物、定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 保育の重要性や環境が与える影響について考察することができる。</p> <p>(提出物、定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 保育の意義や環境について関心を持ち、考えようという姿勢がある。</p> <p>(授業への取り組み、提出物)</p>	○	○	○	12
	<p>&lt;乳幼児の発達と保育&gt;</p> <p>【知識及び技能】 乳幼児期の発達の特性や発達の特徴について理解する。</p> <p>愛着関係の重要性を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達や保育者とのかかわりについて考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 子どもとのかかわりについて主観的にとらえようとする。</p>	<p>乳幼児期の発達 乳幼児期の生理的特徴 発達の特徴</p> <p>教材：ワークノート、プリント</p>	<p>【知識・技能】 乳幼児の発育や発達について理解している。心の発達に関して、愛着形成が重要であることを理解している。</p> <p>(提出物、定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 子どもの発達や保育者とのかかわりについて考察することができる。</p> <p>(提出物、定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分が保育者になることを想像し、子どもとのかかわりについて主観的にとらえようとしている。</p> <p>(授業への取り組み、提出物)</p>	○	○	○	14
	授業内テスト			○	○		1
2 学 期	<p>&lt;子どもの健康と生活・食事&gt;</p> <p>【知識及び技能】 乳幼児の食生活の特徴や子どもの養護の必要性について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもの食習慣や健康の課題を知り、何が求められているのか考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 食生活にかかわる取組みについて主体的に情報を収集しようとする。</p>	<p>子どもの養護 栄養と食生活 乳幼児の食事</p> <p>教材：ワークノート、プリント</p>	<p>【知識・技能】 乳幼児の食生活の特徴や子どもの養護の必要性について理解している。</p> <p>(提出物、定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 子どもの食習慣や健康の課題を知り、何が求められているのか考察することができる。</p> <p>(提出物、定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 食生活にかかわる取組みについて主体的に情報を収集しようとしている。</p> <p>(授業への取り組み、提出物)</p>	○	○	○	16
	<p>&lt;子どもの衣服・健康と安全&gt;</p> <p>【知識及び技能】 適切な衣服の状態について理解し、基礎的な技術を身につけている。</p> <p>病気の特徴や事故の特徴を知り、予防方法を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 衣服選びや着せ方の工夫を考察することができる。</p> <p>子どもを危険から守る具体的な方法を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 子どもとのかかわりや事故を防ぐ方法等について、自分ごととして課題に取り組む姿勢がある。</p>	<p>子どもの衣服の役割・選び方・調節 子どものおもな病気・予防 子どもの安全</p> <p>教材：ワークノート、プリント</p>	<p>【知識・技能】 適切な衣服の状態について理解し、基礎的な技術を身につけている。</p> <p>病気の特徴や事故の特徴を知り、予防方法を理解している。</p> <p>(提出物、定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 衣服選びや着せ方の工夫を考察することができる。</p> <p>子どもを危険から守る具体的な方法を考察することができる。</p> <p>(提出物、定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 子どもとのかかわりや事故を防ぐ方法等について、自分ごととして課題に取り組む姿勢がある。</p> <p>(授業への取り組み、提出物)</p>	○	○	○	12
授業内テスト			○	○		1	
3 学 期	<p>&lt;子どもの文化&gt;</p> <p>【知識及び技能】 子どもの文化の意義や遊びの重要性を理解し、簡単な手作りおもちゃを製作することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもの文化の今後の課題や遊びの現状の課題について考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 子どもを取り巻く環境や文化に関心を持ち、課題に取り組もうとする。</p>	<p>子どもの文化の意義 子どもと遊び(制作含む)</p> <p>教材：ワークノート、プリント</p>	<p>【知識・技能】 子どもの文化の意義や遊びの重要性を理解し、簡単な手作りおもちゃを製作することができる。</p> <p>(提出物)</p> <p>【思考・判断・表現】 子どもの文化の今後の課題や遊びの現状の課題について考察することができる。</p> <p>(提出物)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 子どもを取り巻く環境や文化に関心を持ち、課題に取り組もうとしている。</p> <p>(授業への取り組み、提出物)</p>				14
	合計						70



年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

総合

科目

総合的な探究の時間

教科：総合 科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：（1組：山田）（2組：小嶺）（3組：佐藤）（4組：岡本）（5組：柳田）（6組：糸久）

使用教科書：（「人間と社会」）

教科 総合 の目標：

【知識及び技能】人と社会のかかわりについて理解と知識を得て、将来の生き方に役立てる。

【思考力、判断力、表現力等】他者と意見を交わし協働する姿勢を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】自ら学ぶ方法や態度を身に付ける。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人と社会のかかわりについて理解と知識を得て、将来の生き方に役立てる。	他者と意見を交わし協働する姿勢を身に付ける。	自ら学ぶ方法や態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	自己の進路について考える	・進路ガイダンス（大学・専門学校・就職 分野別説明会） ・入試形態・入試科目について詳細に情報を入手し、自身の考えを二者面談等で担任に明確に伝える。	【知識・技能】 自己理解とともに他者について理解できているか。自己の進路を決定できたか。 【思考・判断・表現】 自己の進路等に対して、きちんと考え、文章でまとめたり、表現したりできるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。	○	○	○	2
	自己の進路について考える	・志望理由書・自己PRの書き方について学ぶ。（ワーク） ・志望理由書・自己PRの書き方について学ぶ。（実際に書く）	【方法】 50%・・・出席状況 50%・・・①課題の提出状況 ②グループ学習への参加等、授業中の態度 ③自己の進路決定	○	○	○	3
	自己理解・他者理解 自己の進路について考える	・A I G R O W実施 ・三者面談実施	【知識・技能】 自己理解とともに他者について理解できているか。自己の進路を決定できたか。 【思考・判断・表現】 自己の進路等に対して、きちんと考え、文章でまとめたり、表現したりできるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。	○	○	○	4
	自己の進路について考える	・進路講演会（キャリア教育講演会）	【方法】 50%・・・出席状況 50%・・・①課題の提出状況 ②グループ学習への参加等、授業中の態度 ③自己の進路決定	○	○	○	4
2 学 期	自己の進路について考える	・進路に向けての調べ学習や受験勉強など、自己の進路に必要な行動を行う。	【知識・技能】 自己理解とともに他者について理解できているか。自己の進路を決定できたか。 【思考・判断・表現】 自己の進路等に対して、きちんと考え、文章でまとめたり、表現したりできるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。	○	○	○	4
	自己の進路について考える	・進路に向けての調べ学習や受験勉強など、自己の進路に必要な行動を行う。	【方法】 50%・・・出席状況 50%・・・①課題の提出状況 ②グループ学習への参加等、授業中の態度 ③自己の進路決定	○	○	○	5
	自己の進路について考える	・進路に向けての調べ学習や受験勉強など、自己の進路に必要な行動を行う。	【知識・技能】 自己理解とともに他者について理解できているか。自己の進路を決定できたか。 【思考・判断・表現】 自己の進路等に対して、きちんと考え、文章でまとめたり、表現したりできるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。	○	○	○	5
	自己の進路について考える 卒業準備	・スーツの着こなし講座 ・卒業式歌を決定する。	【方法】 50%・・・出席状況 50%・・・①課題の提出状況 ②グループ学習への参加等、授業中の態度 ③自己の進路決定	○	○	○	5
3 学 期	自己の進路について考える	・卒業に向けて、これまでの高校生活を振り返るとともに、これからの生活を具体的にイメージし、将来社会に関わり、貢献していく意識を醸成する。 ・卒業式歌の練習をする。	【知識・技能】 自己理解とともに他者について理解できているか。自己の進路を決定できたか。 【思考・判断・表現】 自己の進路等に対して、きちんと考え、文章でまとめたり、表現したりできるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。	○	○	○	3
	卒業準備		【方法】 50%・・・出席状況 50%・・・①課題の提出状況 ②グループ学習への参加等、授業中の態度 ③自己の進路決定				合計 35